KOHASU-KUN
こはすくん
高知大学 病院広報

69号 発行日／平成27(2015)年6月20日

うちの病院 ここがスゴイ! Part.65
新病棟のここがスゴイ ❶
栄養管理部(厨房)が新しくなりました
看護部 遍路研修を行いました
お仕事紹介 診療情報管理士
●4コマ漫画「こはすくん」第30回
院内散歩 ●土佐和紙はがき絵展を開催しました
●七夕コンサートを開催します

うちの病院 ここがスゴイ! Part.65 新病棟のここがスゴイ ❶

栄養管理部(厨房)が新しくなりました

栄養管理副部長
伊與木 美保

栄養管理部は、平成27年3月28日、入院患者さんと共に第二病棟1階に引っ越しました。

第二病棟は病院敷地の東端に建っています。そのため第一病棟の旧厨房と比べると配膳距離が1.5倍ほど長くなってしまいましたが、今後も食事を適温で提供出来るよう、スピーディーな配膳を心がけて参ります。

ここで少し新しくなった厨房及び設備を紹介させていただきます。

新しい厨房は衛生管理に重点を置いた構造となっており、厨房内は汚染作業区域・準清潔作業区域・清潔作業区域に区切られています。厨房入口には強力なエアシャワーを設置しており、衣服に付着した毛髪やゴミが料理に混入するのを防ぐことができます。

また、厨房内は室温25℃以下、湿度80%以下に保つことが勧められており、今回温度や湿度が高くなる食器洗浄室や加熱調理室などの天井には、Wimboeck社の「換気天井システム」を導入しました。このシステムは置換換気方式にて室内の温度・湿度を最適に保つことができ、また、油で汚れたフードや天井の自動洗浄を行ってくれるという画期的なものとなっています。

さらに、上記に加えて食材の納品時の温度、加熱時の中心温度の測定、記録を集中管理するシステムも導入しました。

新しい調理機器としては、「①ブラストチラー」、「②スチームコンベクション」、「③ベルトコンベア」(写真)を導入し、メニューの幅を広げ調理時間の短縮を図ります。

他施設の厨房ではオール電化が進んでいますが、当院の伝統である『直火焼 鰹のたたき』を継承するために、電気以外にガスコンロ、蒸気釜を設置しています。

万が一の震災時にも、このように複数の熱源を持つことによって、調理方法の幅が広がるのではと考えています。

厨房の他にも集団指導室(52㎡)を備えており、外来患者さんの調理実習を始め、集団指導(教室)や個人指導、ミーティングなど、多目的ルームとしての活用が出来るようになっております。

そして、EME(早期医学実習:医学部1年生の初期臨床医学体験見学)や学生実習生、他施設からのコメディカル研修生の研修室としての利用や、栄養サポートチームカンファレンス、糖尿病教育入院チームカンファレンスも予定しております。

これからも、新生栄養管理部として「安全な食事提供」「栄養教育」「チーム医療」に貢献して参りますので、皆様応援をよろしくお願いいたします。

栄養管理部玄関(看護宿舎向かい)

①ブラストチラー
【急速冷却器】
加熱した料理を素早く冷ますことが可能

②スチームコンベクション
「焼く」「煮る」「炊く」「炒める」「揚げる」「茹でる」「蒸す」「温める」8種類の加熱調理が可能

③ベルトコンベア

◀自慢のかつおたたき

▼お茶(湯飲み)の提供を開始

看護部 遍路研修を行いました

平成27年4月17日（金）、高知大学医学部附属病院看護部では新規採用職員研修の一環として、遍路研修を行いました。

今春、採用になった看護師66名は、配属された部署ごとに11のグループに分かれて高知大学医学部附属病院を時間差で出発した後、29番札所・国分寺、30番札所・善楽寺までの約10キロを歩きました。

地図を確認しながら事前に調べたルートを歩き、学習した作法通り参拝を行いました。途中、看護部OBボランティアが開設したお接待所で、おしぼりや飴などの接待も受けました。当日は天候にも恵まれ、歩いていると少し暑いくらいの陽気となったため、参加者たちはお接待所で喉を潤し、足を休めていました。

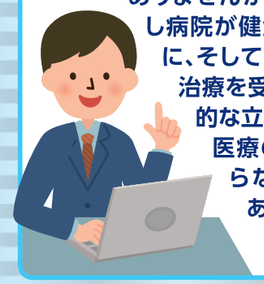
その後、善楽寺からさらに徒歩でサンピアセリーズに移動し、各グループで遍路研修の振り返りを行いました。「目標の達成に向け、支え合い協力し合うことで親睦を深めることができた」「お接待を受けることで、人を思いやることを学ぶことができた」などの発表があり、実りの多い研修となりました。

研修の締めくくりには、高知大学医学部附属病院 前看護部長 宮井千恵氏による「看護師を続けていくために」の講演が行われ、専門職・サービス職としての看護師の自覚をもつこと、医療倫理や医療現場で働く上での心構えなどについて学習しました。

お仕事紹介

診療情報管理士

診療情報管理士は患者さんと接することは極めて少なく、表舞台に立つ仕事ではありませんが、安全な医療を提供し病院が健全に経営できるように、そして患者さんが安心して治療を受けられるように専門的な立場でサポートします。医療の現場になくてはならない存在になりつつあり、近年注目を集めている職域です。



どんな仕事?

患者さんが診察を受けた時に医師が作成する「診療記録（電子カルテ）」、採血やレントゲンなどの「検査結果」や「手術記録」などの診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門的な職業です。

診療情報管理士は、日本病院会を中心とした四病院団体協議会が認定する民間資格です。

日本病院会が実施する2年間の通信教育を修了するか受験指定校を卒業した後、認定試験に合格すると資格を取得でき、全国で27,000人余りが活躍しています。

診療記録に含まれている情報は診療の継続、医療従事者の研究および教育・病院経営、公衆衛生上大変重要です。その価値を最大限発揮させることができるよう公的な記録として管理します。

高知大学医学部附属病院の診療情報管理室の業務

1. DPC/PDPS（診断群分類を用いた1日当たりの支払制度）

入院中に診断された主たる病名によって支払金額が決まる仕組みです。医師が決定した、主たる病名と入院中に実施した検査や処置、手術などの治療内容や入院日数を照らし合わせて適切かチェックします。

2. がん登録

都道府県がん診療連携拠点病院として、当院におけるがんの患者さんを把握する院内がん登録を行っています。また、高知県が実施する地域がん登録の事務局を担当し、がん対策事業に協力しています。

3. 情報検索・データ分析

診療情報データベースに保存されたデータから依頼に応じて必要な情報を抽出したり、蓄積されたデータを集計分析し、病院運営の資料やより良い診療を行うための指標として有効に活用できる情報を提供しています。

その他に、診療記録の監査業務や、クリニカルパス（治療や検査の標準的な経過を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた入院診療計画書）の管理などを行っています。

院内散歩
INNAI SANPO

土佐和紙はがき絵展を開催しました

4月3日～5月14日、外来診療棟で土佐和紙はがき絵展を開催しました。展示したはがき絵は、いの町紙の博物館で開催された第8回全国土佐和紙はがき絵展の入賞作品で、毎年博物館のご好意でお借りしています。

今年も、草花や動物、乗り物など、様々なモチーフを描いた個性豊かな作品が、院内の廊下に並びました。作品の前を通りがかった患者さん達は、色とりどりの作品に見入っていました。

七夕コンサートを開催します

来たる6月27日（土）、附属病院　外来玄関ホールにて七夕コンサートを開催します。医学部合唱団、医学部ダンス部が出演予定です。是非お誘い合わせのうえお越しください。

昨年のコンサートの様子

七夕コンサート

★日　時：6 月 27 日（土）午後 1:30 開演
★場　所：高知大学医学部附属病院 外来玄関ホール
★出演者：医学部合唱団、医学部ダンス部

KOHASU-KUN こはすくん
69号 高知大学 病院広報
平成27（2015）年6月20日 発行

ご意見・ご感想はこちらまでどしどしお寄せください。

［郵送先］
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部・病院事務部
総務企画課調査・広報係
TEL.088-880-2723（直通）
■ ホームページ
http://www.kochi-ms.ac.jp
■ メールアドレス
kms-info@kochi-u.ac.jp

高知大学医学部附属病院
KOCHI MEDICAL SCHOOL HOSPITAL
〒783-8505
高知県南国市岡豊町小蓮185-1
TEL.088-866-5811（代　表）
TEL.088-866-5815（時間外）